※令和４年度以降入学生用

学校番号	207

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校改訂版　政治・経済（第一学習社）						
副教材等	2025 ズームアップ公共資料（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

具体的な問題を取り上げ、その背景にある政治・経済面だけでなく地理・歴史的側面から、社会構造について認識を深めていけるように工夫します。授業前に、中学・現代社会の知識面は確認しておくようにしておいてください。

また、単元を知識のまとめとして教科書・資料集を活用し、単元間の関連性について学びます。特に、問題認識、解決に関しての小論文が書けるように、単元を横断した知識・理解ができるようにしましょう。

さらに関連する新聞記事・視聴覚教材などを適宜取り入れ、現代社会の諸問題に対する想像力や感性を豊かにできるようにします。日ごろから新聞やニュースに関心を持ち、関連する知識、問題を意識するようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の政治・経済・国際関係などに関する諸課題について自分の考えを発表するために、資料を調べるスキルを身につけるとともに、その資料から有益な情報を発見し、まとめる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

現代の政治・経済・国際関係などに関する諸課題を政治・経済的観点から考察することにより、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けるとともに、そのために必要な諸資料を収集、選択して効果的に活用している。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	民主政治の基本原理	・民主政治の発展 ・法と政治 ・世界の政治体制 ・民主政治の混迷と課題	日本と各国の政治体制を、歴史的背景を含め理解する。また、法と政治の関係についても理解する。（a） 様々な資料を用いて民主政治の本質を歴史の流れの中から理解させ、世界のおもな政治体制の中にどう具体化されているかを考える。（b） 民主政治の課題について現代の諸問題と関連付けるとともに、国際関係、地理的、歴史的観点からも主体的に考察できるようにする。（c）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法の成立 ・平和主義 ・基本的人権の保障 ・人権のひろがり	日本国憲法の内容を把握し、その内容が近現代の歴史や社会諸制度とどのように関係しているかを理解する。(a) 日本国憲法の三大原理について学び、憲法の果たす役割と現代の課題について考える。（b） 日本国憲法の平和主義、基本的人権の保障、国民主権などの理念を現実社会で活かすために我々国民はどのようすればよいかを主体的に考察させる。（c）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察
	現代日本の政治	・戦後政治の歩み ・選挙制度と政党 ・政治参加と世論	国民の生活と選挙、政治参加に関する理解を深める。(a) 18 歳選挙権に向けた政治参加ができるよう、現代の政治制度・政党政治のあり方や課題について考える。（b） 模擬選挙を行い、今後生きていく社会にどのように参画してくべきかを考える。（c）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

	現代の国際政治	・国際政治の特質と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代国際政治の動向 ・核兵器と軍縮 ・人種・民族問題 ・国際政治と日本	国際的な諸問題について、日本と各国の歴史的・政治的・経済的な観点での知識を確認し国際連合の役割、国際協力について理解を深める。（a） ナショナリズムや国際平和、軍縮など日本と各国の立場や歴史的背景を比較考察する。（ｂ） 国際問題、ナショナリズムと人種・民族問題などを、具体例を挙げて学びその解決策を主体的に模索する。（ｃ）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察
２学期	現代経済のしくみ・経済社会の変容・世界経済と日本	・資本主義社会の変容 ・グローバル化と現代資本主義経済 ・市場機構 ・現代の企業 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ ・財政の仕組み ・商品／資本の流れと国際収支 ・国際経済体制の変化 ・金融のグローバル化と金融危機 ・地域経済統合と新興国の台頭 ・経済協力と人間開発の課題	経済主体の役割と市場経済や各種制度の役割を学習し、経済活動がどのように調整されているかを考え理解する。（a） 市場のしくみ、金融のしくみ、財政の役割について調べ、よりよい社会を作り上げるための方法について考える。（ｂ） 経済のグローバル化が進む現在と、資本主義の歴史的変容を確認するとともに、東京証券取引所の取引学習システムを利用し、グローバル化している市場と経済、国際関係について主体的に考察する。（ｃ）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察
	現代社会と福祉の向上	・日本経済の歩み ・日本の中小企業と農業 ・国民の暮らし ・環境保全と公害防止 ・労使関係と労働条件の改善 ・社会保障の役割	経済発展と環境問題、労働問題について歴史的背景を確認し、現代の諸問題について理解する。（a） 生活と密着している、中小企業と農業、労使関係などについて、その問題と解決について考える。（ｂ） 国民生活の諸問題について、問題提起と解決策についての提言などをレポート化できるようにする。（ｃ）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	現代社会の諸問題	・現代日本の政治や経済の諸課題 ・国際社会の政治や経済の諸課題	諸問題に関して、各種制度や法的な知識など、歴史的な観点から理解を深める。(a) 問題と解決の多面的かつ構造的理解を行うために、各種資料を検索し、信憑性を判断できるようにする。(b) 具体的な問題を取り上げ、基本的概念や理論の学習をふまえて諸課題を理解し、主体的にその解決法を提言する。（c）	定期考査	定期考査 レポート	提出ノート/プリント 振り返り 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度